

承認	議長	副議長	事務局長	次長	合議	担当
					 	

様式第 1 号

令和 6 年 8 月 6 日

真庭市議会

議長 小田 康文 様

真庭市議会議員

吉原 啓介



調査研究、研修会、要請・陳情活動届

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行うことについて届けますので、承認願います。

記

1 区 分 調査研究 研修会 要請・陳情活動

2 訪 問 先 ①バ・アンド・コー株式会社
(コワーキングスペース「co-ba ebisu」)
②あべ俊子文部科学副大臣

3 内 容 ①都市と地方を結ぶコワーキングスペース見学
②高校生の海外交流サポートにかかる打合せ

4 行 程 別紙のとおり

5 事務局から訪問先への依頼 必要 ・ 不要



(注) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること。

行程表

令和6年8月19日	移動	7:05	岡山空港（※真庭→空港は自家用車）	ANA
		8:20	羽田空港	
		8:45	羽田空港第2ターミナル	東京モノレール
		9:04 9:12	天王洲アイル	りんかい線 JR
		9:25	恵比寿	
	パ・アンド・コー株式会社	10:00～ 12:00	コワーキングスペース「co-ba ebisu」見学及びヒアリング	
	移動	13:00	恵比寿	JR
		13:01 13:07	渋谷	
		13:13	永田町	東京メトロ
	衆議院第一議員会館	13:30～ 14:00	あべ俊子文部科学副大臣面談	
	移動	16:23	永田町	東京メトロ
		16:26 16:31	有楽町	
		16:35 16:39	浜松町	JR
		16:57	羽田空港第2ターミナル	東京モノレール
		18:00	羽田空港	ANA
		19:15	岡山空港（※空港→真庭は自家用車）	

報 告 書

令和 6 年 8 月 22 日

真庭市議会議長 小田 康文 殿

報告者 真庭市議会議員 氏名 吉原 啓介



下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究・研修会・要請陳情活動をしましたので、その結果を報告いたします。

記

1. 面談：バ・アンド・コー株式会社

(1) 日時

令和 6 年 8 月 19 日（月） 10 時～12 時

(2) 場所および相手方担当者

場 所：co-ba EBISU

（渋谷区恵比寿西 1-33-6 JPnoie 恵比寿西 1F）

担当者：企画部 シニアマネージャー 荻野高弘氏

企画部（コミュニティマネージャー） 本間由佳氏



(3) 事業者の概要と訪問目的

- シェアードワークプレイスを軸とした、企画・運営・デザインの総合場づくりを行っている事業者。
- シェアオフィス、コワーキングスペースといった単なる空間づくりではなく、利用者同士の情報交換や協業のきっかけづくりの役割を果たす場づくりをしている。
- 真庭市とのかかわりに関しては、「蒜山ひととき」の利用促進に向けたプロモーション活動等の委託を受けて行っている。
- 今回の訪問・面談目的は、都市部のシェアオフィス利用者の地方に対する興味の高まりや他拠点連携での利用促進、関係人口づくりの可能性についてのヒアリング。

(4) 内容

- co-ba EBISU の利用者は、IT 系を中心に個人企業者が多い。
- 法人登記も可能なので、渋谷区アドレスでの本店登記と諸々の書類等が自宅以外で受け取れる（一般のマンションは法人登記禁止のところが多く、郵便受け等に法人名の掲示ができないのが一般的）のが施設の魅力の一つになっている。登録希望者が多い理由の一つ。
- 利用者同士、気持ちよく仕事ができるよう、利用登録時に運営者が面談

し、不適と思われる申込者はお断りしている。

○各利用者が何をやっているか、掲示板や Web 等で積極的に情報発信しているのに加え、受付に常駐しているコミュニティマネージャーとの会話・コミュニケーションを通じて、利用者同士の多くの交流・連携が生まれている。

○蒜山ひとときについては、率直に言って、あまりに利用者が少ない。遠い、滞在施設が少ない、2 次交通手段が圧倒的に不便、といった環境的な要因も大きい、そこを利用する動機付けができていないことが最大の要因ではないか。

○産業政策課とも連携して、定期的なイベントも実施しており、都市部のシェアオフィス利用者、個人企業者と地域の交流、事業創出のきっかけづくりを行おう、と、しては、いる。

○今後、逆に地域のまだ知られていない資産（事業のヒント）を深耕し、こういった活動に取り入れていくよう、担当課とも協議させていただきたい。

○こちらからは、産業政策課や観光局だけでなく、総合政策部や各振興局との連携も重要なこと、そのための助言やサポートをしていきたい、と伝えた。

2. 面談：阿部文部科学副大臣

(1) 日時

令和 6 年 8 月 19 日（月） 13 時 30 分～14 時 30 分

(2) 場所

衆議院第一議員会館 514 号室

(3) 内容

○高校魅力化に向けた活動の一環として、市内高校とイタリア/ノチェラ・ウンブラの高校との交流支援について話をした。

○今年 4 月にイタリアの奨学金団体と現地高校の校長・国際交流担当教諭の一行が表敬訪問し、真庭市内高校との交流の経緯や、今後の高校間交流の推進について意見交換を行っている。

○今回の打ち合わせは、阿部副大臣が来年初めにアフリカ方面に行く際、イタリアに立ち寄って今回の相手方関係自治体及び学校にあいさつをおきたい、との意向があることから、訪問先候補や行程等について話し合うためのもの。

○訪問先候補としては、交流活動の相手方窓口となっているペルージャ外国人大学をはじめ、ウンブリア州の主要都市であるペルージャ、フォルニーニョ、また実際に交流活動を行っているシジスモンディ校及びその所在するノチェラ・ウンブラを中心にするとし、2 泊 3 日程度の行程でどうか、ということになった。

○9 月に総裁選を控えていることから、具体的な話は 10 月以降になる見込み。

○今春のイタリアからの前述の訪問をきっかけに、国内の複数の高校（駒沢大学付属高校、関東国際高校等）で連携した交流活動につなげようという動きも出ていることに伴い、阿部副大臣からは、上智大学外国語学部にも紹介します、との提案をいただいた。

以 上